

第2期

令和3年度諫早市営業時間短縮要請
(要請期間 8月24日~9月)

記載例 (様式1)
【個人事業者】

(様式1)

諫早市営業時間短縮要請協力金支給申請書

(申請日) 令和3年 ○月 ○日

諫早市長 様

次のとおり諫早市営業時間短縮要請

「店舗毎に算出した支給額」
の合計金額

係書類を添えて申請します。

1 申請者の情報

申請する店舗数	2	店舗	申請金額 (※1)	, 700, 000 円			
法人:本店所在地 個人:住民登録住所 (※2)	〒 854 - ××××					〇〇市△△町1番地 (住民登録している住所)	
個人事業主の 場合	(フリガナ) 事業主氏名						
	姓	(イサハヤ)		名	(タロウ)		
	諫 早		太 郎				
法人の場合	※ 記 入 不 要						
事業規模 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 (個人事業主含む)			<input type="checkbox"/> 大企業			
フリガナ 担当者名	イサハヤ ハナコ 諫早 花子		担当者 電話番号 (※4)	0957 - ×× - ××××			

※1 申請金額は「店舗毎に算出した支給額」の合計金額を記入してください。

※2 法人の場合は法人登記がある所在地、個人事業主の場合は住民登録がある住所を記入してください。

※3 事業規模は、中小企業基本法 (昭和38年法律第154号) の主たる事業の区分によります。

※4 日中連絡がつく電話番号を必ず記入してください。

2 振込先口座

金融機関名	□□	銀行 信組 農協	金庫 信連 漁連	本・支店名	□□	本・支店 本・支所 出張所	
口座種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 当座	金融機関 コード	(任意記入)	支店 コード	(任意記入)	
口座番号	1	2	3	4	5	6	7
フリガナ 口座名義人	イサハヤ タロウ 諫早 太郎						

※ 旧十八銀行、旧親和銀行の通帳は、十八親和銀行の通帳へ切り替えての記入にご協力ください。

※ 振込先口座名義は、申請者本人の名義に限ります。(法人の場合、当該法人名)

※申請者名義の口座を記入。

(様式2)

誓約書

諫早市営業時間短縮要請協力金の支給を申請するにあたり、以下のとおり誓約します。

1. 感染拡大の防止に向けて、業種別ガイドラインを遵守しています。
2. 今後も、事業を継続する意思があります。
3. 申請要件を全て満たしています。
4. 申請書類に記載された内容に虚偽が判明した場合は、本協力金の返還に応じるとともに、加算金の支払いに応じます。
5. 諫早市から検査・報告・是正のための措置の求めがあった場合は、これに応じます。
6. 申請に不正があった場合には、本協力金の支給を受けた事業者名、事業所名などの情報が公表されることに同意します。
7. 申請する事業の営業に必要な許可等をすべて有しています。
8. 他の行政機関等が支援金等の支給要件の該当性等の審査をするため必要な場合であって、当該審査に必要な限度で、本協力金の申請書及び提出資料に記載された情報を当該他の行政機関等の求めに応じて提供することに同意します。
9. 次のいずれにも該当しておりません。
 - (1) 諫早市暴力団排除条例(平成24年条例第20号)第2条第1号に規定する暴力団
 - (2) 諫早市暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団員
 - (3) 諫早市暴力団排除条例第2条第4号に規定する暴力団関係者

諫早市長 様

※氏名は自署してください。

令和3年〇月〇日

【申請者】

所在地・住所 〇〇市△△町1番地(住民登録している住所)

氏名 諫早 太郎

※押印不要

【留意事項】

※法人の場合	
所在地・住所	法人登記がある所在地を記載してください
氏名	名称及び代表者の職・氏名を記名・押印してください なお、押印は法人登記印を押印してください
※個人事業主の場合	
所在地・住所	住民登録がある住所を記載してください
氏名	自署してください

第2期

令和3年度

(様式 3-1)

2店舗以上申請する場合は、1店舗につき1枚記入し、通し番号を振ってください。また、同じ店舗の「営業許可証の写し」、「写真」、「売上高がわかる書類」の右上には、同じ番号を記入してください。

店舗No.

①

法人名

または個人事業主名

諫早 太郎 (法人の場合、法人名を記入)

営業許可証のとおり、記入してください。

フリガナ	スナック メガネバシ	許可番号	長崎県指令 (2) 県央振 保衛
店舗名	スナック 眼鏡橋		第 1234 号
店舗所在地	諫早市 △△町1番1号 (店舗所在地)	店舗の種類 (許可証に記載の「種別」または「業種細分名」)	スナック
該当する取組内容の□に✓を付けてください	<input checked="" type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、要請期間中、全ての期間において、午前5時から午後8時までの間に営業時間を短縮 (終日休業を含む) し、酒類の提供は午後7時以降行わないようにしました。 <input type="checkbox"/> 午後8時から翌朝午前5時までの間に営業していましたが、「 <u>なびききこ</u> 」等飲食店		
備考	※開店1年未満の場合 (令和2年8月2日以降開店の場合) は、 様式 3-2 を提出してください。 (計算方法が異なります。記載例はこちらを参考にしてください)		

店舗ごとの支給額計算

※該当する計算方法の□に✓を付けてください。

◎中小企業 (個人事業主)

※該当する計算方法に☑してください。

A. 前年まで
(飲食業売
→1日あ
→店舗の

- ・中小企業 (個人事業主) → A~D のいずれかで計算
- ・大企業 → D で計算

A → 「売上高がわかる書類」、「確定申告書 (控) の写し」は添付不要。

B. 前年まで
1日あ
(飲食業売

B~D → 計算した金額を記入し、計算の根拠となる「売上高がわかる書類」、「確定申告書 (控) の写し」を添付してください。

- (1) 前年
・前年まで
・(A) →
- (2) 1日
・(B)
- (3) 店舗
・(C)

【B~D を計算する際の注意点】

※税抜で計算してください。

(消費税及び地方消費税は売上高に含めません。)

※テイクアウト等、営業時間短縮要請の対象外となっている事業の売上高は、含めずに計算してください。

(様式3-1)

□C. 前年または前々年の8月～9月における1日あたりの売上高が25万円以上
(飲食業売上高を確認できる書類(売上帳の写しなど)を添付してください)

- (1) 前年または前々年の8月～9月における1日あたりの売上高を算定
- ・前年または前々年の8月～9月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
 - ・(A) ÷ 61日 = (B) _____, _____, _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)
- (2) 1日あたりの支給単価を決定
- ・(B) が 250,000円以上 → 1日あたりの支給単価は、75,000円
- (3) 店舗の支給額
- 1.05万円 (7万5,000円 × 14日)

◎大企業の場合 ※中小企業(個人事業主も含む)も選択できます。

□D. 前年または前々年との比較による
本年8月～9月の1日あたりの売上高減少額から算出
(飲食業売上高を確認できる書類(売上帳の写しなど)を添付してください)

- (1) 1日
- ・前年または前々年の8月～9月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
 - ・(A) _____
 - ・(B) _____
 - ・(C) _____
- (2) 1日
- ・前年または前々年の8月～9月の売上高 (A) _____, _____, _____ 円
 - ・本年の8月～9月の売上高 (E) _____, _____, _____ 円(9月末までの売上高を記入)
 - ・(A) - (E) = (F) _____, _____, _____ 円
 - ・(F) ÷ 61日 = (G) _____, _____, _____ 円(1円未満の端数は切り上げ)
- (3) 1日あたりの支給単価を決定
- ・(G) × 0.4 = (H) _____, _____, 000円(千円未満の端数は切り上げ)
 - ・(D) と (H) のうち、いずれか低い金額 (I) _____, _____, 000円
- (4) 店舗の支給額
- ・(I) × 14日 = _____, _____, 000円

【Dで申請する際の注意点】

※本年9月末までの売上高確定後に算出し、10月以降に提出してください。

事務局使用欄	
区分	1日あたりの支給単価
※ 記 入 不 要	